

阪神・淡路大震災から20年

防災行動の向上と防災意識の高揚をはかるために

～平成26年度 宝塚市総合防災訓練～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

宝塚市の末広中央公園で、直下型地震を想定した大規模な防災訓練が開催され、一般市民、消防や警察などの関係機関が参加しました。

六甲砂防事務所は、昭和13年の阪神大水害や平成7年の阪神・淡路大震災による被災状況の写真パネルの展示、模型による土石流実験を行い、六甲山地で発生した災害に対する砂防事業の取り組みと土砂災害防止の心構えについて説明しました。

## 概要

日時：平成27年1月16日（金）

9：30～12：00

場所：末広（防災）中央公園

主催：宝塚市

参加人数：約700名



## ○パトロールカーで被害情報伝達訓練に参加

災害に対応する際には、被害状況の情報収集が重要です。六甲砂防事務所は他の機関と合同で、パトロールカーによる被害情報の調査の訓練に参加しました。

## ○阪神・淡路大震災の写真パネルの展示と土石流実験



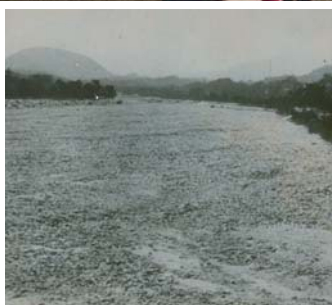
阪神・淡路大震災により宝塚市内でも土砂災害が発生しましたが、その当時の写真パネルを展示するとともに、震災を契機として着手した「六甲山系グリーンベルト整備事業」の取り組みを紹介しました。

また、土石流模型を使った実験では、砂防えん堤の仕組みや効果について説明し、日頃から土砂災害への防災・減災意識をもってくださいようお願いします。

参加者は阪神大水害や阪神・淡路大震災の被災状況のパネルを興味深くご覧になっていました。



阪神・淡路大震災での宝塚西高校裏山の被害状況



明治時代の逆瀬川の被害状況

### 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535

